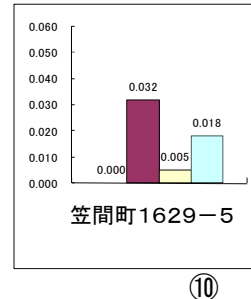
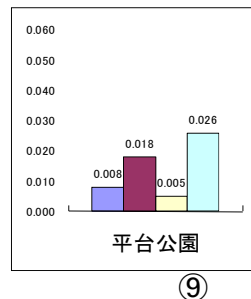
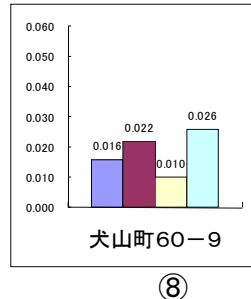
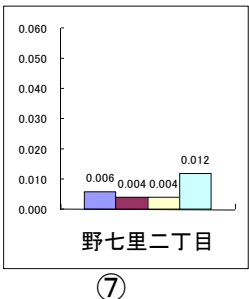
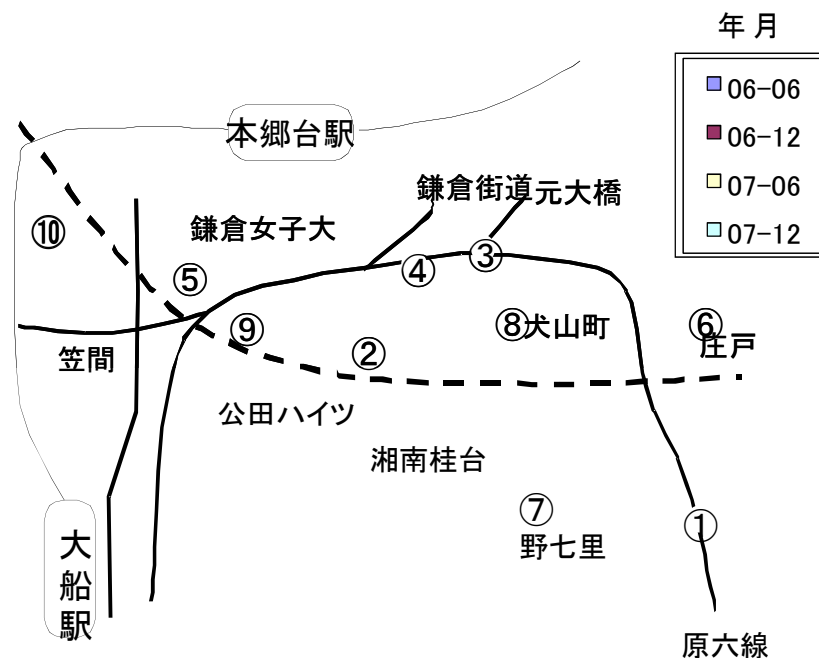
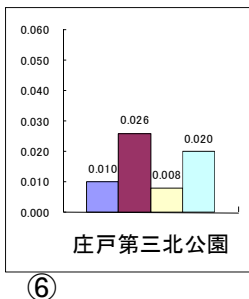
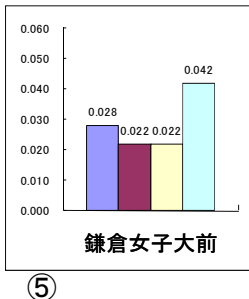
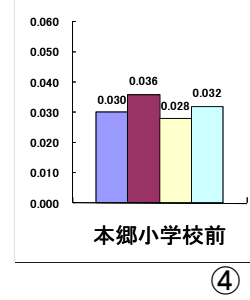
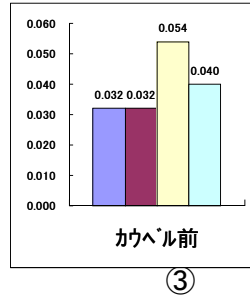
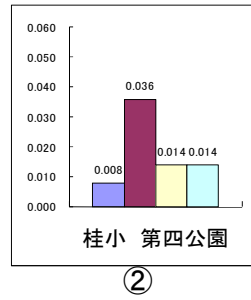
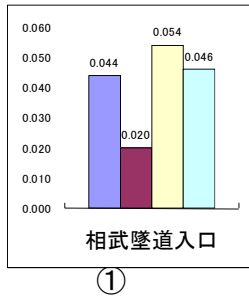


# 平成19年12月期のNO<sub>2</sub>定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回栄区内の定められた場所47箇所に二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂、定期定点観測をおこなっています。今回は晴天の中での測定でした。環状四号線沿いは変化なく、住宅地内で高めの所がありました。以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフを示しますが、環状4号沿いが高くなっています。単位はPPM、現在の環境基準は0.06PPM以下です。



## 二酸化窒素測定作業

1. 試薬及び試薬付きろ紙は有限会社 筑波総合科学研究所より取り寄せております。
2. カプセルの準備はカプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙とともに各団体に配布。
3. 各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後、回収します。
4. 測定は、カプセルに試薬を入れると二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。その濃度をエコアナライザーNoxで測定する。ppmでデジタル表示されます。